

講座名：【推薦】“その人の背景・事情を推測するセンサー”のメンテナンスをしよう！（対面形式）

研修名	“その人の背景・事情を推測するセンサー”のメンテナンスをしよう！ 全1回
概要	<p>暮らしの保健室“いえラボ”を運営する中で、地域の方と交流しながら「地域の方々が医療者のアドバイスを自分の状況に合わせる（取り入れようとする）“助け”が必要である」ことを知った。そのほとんどは些細なことであり、個人の“事情”である。この経験を活かし、短時間の会話の中から、看護師が対象者の背景・事情を推測する力と看護の創造力を養う研修を計画した。</p> <p>患者や家族の不安げな表情に「何かある！」とセンサーが働いても、業務の多忙さ等で無反応を続けると人間のセンサーの感度は鈍化する。その鈍化が看護師のやりがいにも影響するのではないかと考えた。</p> <p>本研修では「5分」という時間にこだわり、センサーの感度が高ければ高いほど、わずか5分の対話であっても患者や家族に質の高い医療や看護を提供することに繋がり、それが看護師自身のやりがいになると考えている。この研修を通して、すでに持っているセンサーの感度を再確認し、その力を患者や家族、後輩に自信をもって発揮することを期待する。</p> <p>本研修は、日々の職場環境から離れ、自身を俯瞰するために研修場所を“いえラボ”とする。</p>
目的	看護師が持つ「目の前にいる”その人”の背景や事情を察知するセンサー」をメンテナンスすることで、わずかな時間の関わりでも質の高い看護が提供でき、後輩指導ができる。
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.モヤモヤが残る患者・家族との関わりを振り返ることができる。 2.なぜ、そのモヤモヤが記憶に残るのかを知ることができる。 3.元患者・家族の「病の体験の語り」を通して、患者・家族の背景や事情を知ることができる。 4.ロールプレイを通して「わずかな時間（5分）でも質の高い看護が提供できる」ことを体験できる。 5.今回の体験をとおして得たことを後輩に指導（伝達）するヒントを得られる 6.リフレッシュできる
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 話題提供：暮らしの保健室から 地域連携教育支援センター：松元由香 相談者から見える病院、医療者、看護師について 2. グループワーク：経験の共有 地域連携教育支援センター：横井郁子 モヤモヤが残る患者・家族のあの時の表情・言葉・振る舞い なぜ、記憶に残り、今蘇るのか 3. 全体共有 4. 「病の体験の語り」を視聴 背景・事情を想像する 5. 5分の向き合いロールプレイ (今日の感想、交流会、「質の高い”5分（で）看護”を生み出せプロジェクト」)
開催日時	<p>日程：2025年7月22日（火）</p> <p>時間：10時～15時頃を予定</p>
開催方法	東邦大学サテライトキャンパス “いえラボ” (大田区西嶺町 11-25 グランデュール西嶺 103)

対象	①リーダー業務を担う者、主任および師長補佐のうち本研修に興味があり上司の推薦のある者 ②研修の学びを後輩育成に活用できる者
定員	9名（大森3 大橋3 佐倉3）
受講料	無料
申し込み期間	講座管理システムへの申し込み 2025年4月21日（月）～2025年4月25日（金） 講座管理システム申し込み締め切り 2025年4月25日（金）12時
参加方法	東邦大学看護企画室キャリア支援セッション講座管理システムよりお申し込みください。 ※受講者本人による申し込みが必要です https://kk.nurs.toho-u.ac.jp/kk/kklogin.php ※申し込み時に、上司からの推薦文の入力が必須です（申し込み者が入力）
特記事項	昼食は各自ご用意ください。
開講責任者	東邦大学法人本部看護企画室キャリア支援セッション：徳留彰子
連絡先 問合せ	電話：03-3762-9890（直通） 03-5763-6529（看護企画室） 内線：5383（直）/2162（看） メールアドレス： career@jim.toho-u.ac.jp